

陽だまり

vol.13

2013.8月発行

公益財団法人 丹後中央病院

病院長 西島直城

〒627-8555 京都府京丹後市峰山町杉谷158-1
TEL 0772(62)0791 <http://www.tangohp.com>

9月7日(土) 新棟竣工式を迎えます

内覧会を予定しております。ぜひお越しください。



【完成イメージ】

— CONTENTS —

◆ごあいさつ	病院長 西島 直城 「教育とは～ペスタロッチの『愛の精神』から～」	2
◆ごあいさつ	経営企画部長 小谷和彦 「新棟の竣工に向けて」	4
◆新任医師のご紹介	糖尿病内分泌科 革嶋 幸子 / 糖尿病の食事療法 Series 2	6
◆講演会より	消化器内科 瀧田 暁彦	8
◆診療科のご紹介	泌尿器科/リハビリテーション科	10
◆各部署のご紹介	施設課	12
◆薬の豆知識	No.12 薬とサプリメント	13
◆職員募集のお知らせ		14

現在、世界で最も有名な女性は十代のマララさんであろう。

彼女はパキスタンで襲われた。銃弾が目から頸部に貫いた。英国で手術がなされた。銃撃した者達を決して恨んではない。彼女がニューヨーク、国連本部に招かれた。彼女の主張は聴衆全体の涙を誘った。マララさんは、首の傷跡にピンクのスカーフを巻いて国連本部の大会場で見事な、美しい英語で主張した。そのスカーフは母国パキスタンのベナジル・ブット元首相が愛用したものだった。彼女が語るに、「最も強い武器は本とノートとペンである」。2007年12月に自爆テロで倒れた元首相・女性指導者の遺品を纏うことによって、「暴力に屈することを断固として拒んだ」。この日はマララさんが16歳の誕生日を迎えた日でもあった。彼女の家は教育者の家で、彼女は英語に堪能であった。国連で彼女がゆっくりと、わかり易い英語で多くを語った。私は聞き入って、息をすることができなかった。最後には両方の頬に涙が伝わってきたのを覚えている。彼女が最も強調したのは「教育」という言葉であった。ブット元首相の人権擁護運動に立ち上がった。

「教育には愛がいる。愛の精神こそ教育につながる。」(ペスタロッチ)

おそらく、マララ・ユサフザイさんは、十代でノーベル平和賞に輝くであろう。

当地・丹後においても、児童の教育を学校にのみ委ね、家庭での情緒教育が不足していると私は感じている。当地の生徒は、中学を過ぎてからの自分の行く末を見失っている方が多い、といった内容を、私は網野高校で説いた。消化器内科主任

部長・濱田先生も宮津高校で講演した。看護師の安積(あづみ)君は何度もあちこちの学校へ招聘され、若い時の勉強の大切さを語った。

・・・私の育った頃は、中学を卒業して5年間の一貫した教育を受ければ一等航海士になれる、一等通信士になれるという国立の高等専門学校に、大変な魅力があった。入学した時から小遣いが貰え、全寮制度が整えられたということで、倍率は75倍以上であり、普通の中学生はととても合格できなかった。私の田舎の小野中学校から、私が熊本商船高校に合格し、平岡強君が大島商船高校に合格した。二人が臼木(私が育った所)の分校の桜の木

教育とは

の下で、シーソーに乗って交わした言葉が二人の運命を大きく分けた。私の父は小学4年生で両親を亡くし、丁稚で、東京の大岡山で新聞配りをしていた時に、下駄を履いて登校していた東京工大の学生を眩(まばゆ)く見上げて、神童のように憧(あこが)れた、という話を聞かされていた。「直や、お前がいくら偉そうにしてみても、熊本商船がどれほど立派な学校であっても、やっぱり東大・京大の連中には頭を下げることになるよ。」

この言葉が私の進路を決定的にした。やはり私は、普通高校である宇部高校を選択した。そのことをシーソーに乗りながら平岡君に言ったが、彼



カイバル・パクトゥンクワ州ミンゴラ。
マララさんは、ここにあるスワート地区で生まれた。父親は学校を経営しており、マララさん自身もそこへ通学していた。そして、下校途中のスクールバスの中で、マララさんは銃撃された。

は山口高校には進まず、大島商船を選んだ。その後、彼は大島商船を卒業するが、やはり方向転換し、予備校に行き、岡山大学の理学部に進んでコンピュータのプログラマーとなった。二人子供を残して、交通事故で死んだ。

丹後中央病院は、早くから教育講堂を造り、京大とたすき掛けの研修指定病院となり、その教育講堂の入口にはコロの『モルトフォンテーヌの思い出』と、ブグローの『兄弟愛』という絵が飾ってある。この教育講堂の名前は、「ふたばホール」と命名した。やはり「おにぎりよりも柿の種」から選んだ。夏の暑い日には、今は亡き母が校庭のブランコの下に蓆(む

～ペスタロッチの愛の精神から～

病院長 西島 直城

しろ) を敷いて、うちわで蚊を避けながら『加賀の千代』の話をして、俳句を覚えてくれた。百人一首をすべて覚えたのもこの頃である。北斗七星、あるいはカシオペア座を教え、北極星の見つけ方を教えてくれた。果ては山中鹿之助の「我に七難八苦を与えたまえ」―「若い時の苦労は一生の糧(かて)になる」ことを教えてくれた。やはり私は、良き環境、そして英才教育を受けたと思う。父や母の亡くなった年齢を越えて初めて知る、親の恩。「親の小言と茄子(なす)の花には千に一つも仇はない」。今はつくづくこの言葉を噛みしめている。マララさんは、自分はこの1～2年で再度凶弾に襲われるかも知れない。でも自分は教育の大切さを命のある限り唱える、と結んだ。やっぱり偉大な人だと崇敬の念を禁じえない。

長州が生んだ吉田松陰は、安政の大獄で惨殺されるのだが、松下村塾(しょうかそんじゅく)での塾生達に辞世の句を詠んでいる。

身はたとひ

武蔵の野辺(のべ)に朽(く)ちぬども

留(とど)め置かまし

大和魂(やまとだましい)

これに奮い立った高杉晋作・木戸孝允(桂小五郎)・伊藤博文達が倒幕に立ち上がった。吉田松陰は、享年29歳であった。マララさんは16歳。



平成22年に完成した研修講堂「ふたばホール」



「ふたばホール」入口に飾られた絵画。ブグロー『兄弟愛』(左)、コロ『モルトフォンテーヌの思い出』(下)



故郷・山口県にて。昔通った分校は湖に沈んだ。その位置を指す



山口県・松陰神社に残る松下村塾の講義室

新棟の竣工に向けて

経営企画部長 小谷和彦

当院は、昭和17年5月11日、地域住民の悲願の病院として誕生しました。当初は39床の病院として開設され、いつの時代も地域と共に歩んできました。

71年の歴史の中で増改築が繰り返されておりますが、現在の本館は昭和54年に建築され耐震構造が問題となってきました。そこで、本館の建て替えと同時に増床することになりました。増床については段階的に行い、平成26年4月には306床の病院になります。

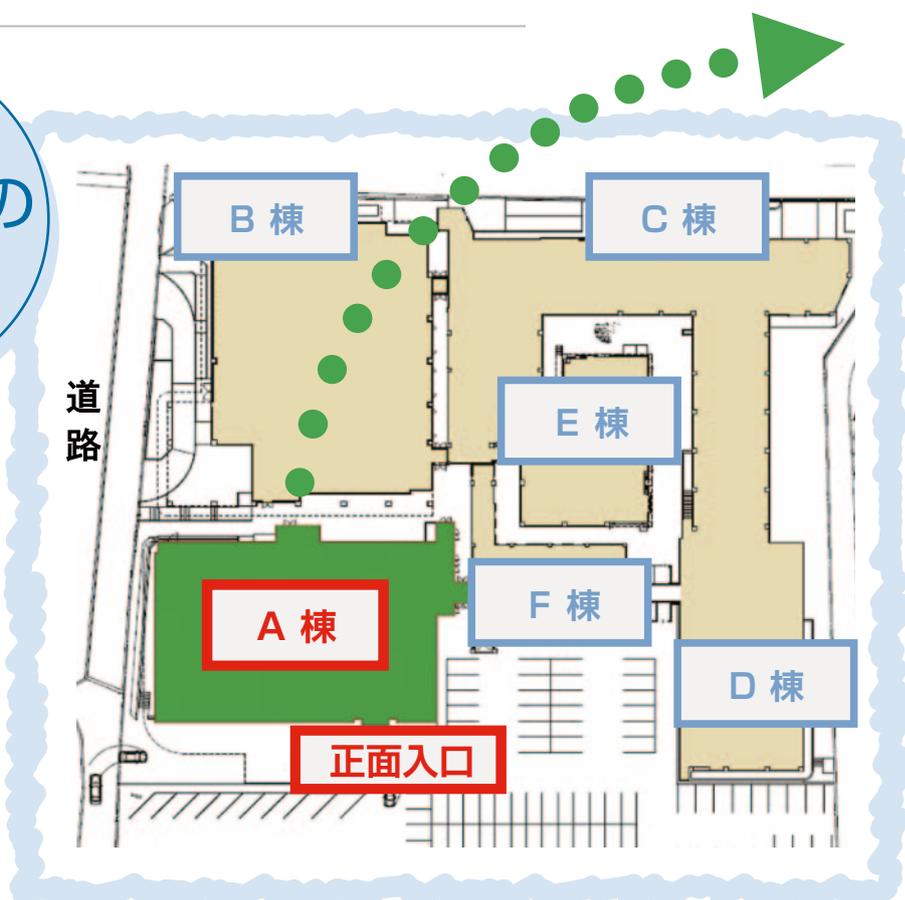
今回の建築は、地下1階、地上5階建ての本館となります。構造は鉄骨鉄筋コンクリート造で、建築基準法に基づく強度の1.5倍の強度をもたせております。丹後地方では昭和2年3月に大地震が発生し、多くの方が亡くなられましたが、この建物は当時の規模の地震でも壊れない構造になっております。

建物は8月に完成し、9月には引越しを行います。その後、現在の本館は取り壊して駐車場として整備します。今日まで駐車場が大変狭隘化しており、利用される皆様には大変ご不便をおかけしておりますが、この駐車場が整備されますと近隣を合わせて約200台の駐車が可能となります。

当院のシンボルになっていた「いちょうの木」は、今回の建築に伴って伐採することになってしまいましたが、姿を変えて再び皆様の前に登場することになっております。また、次世代を担う「いちょうの木」は、少し離れた場所で元気に育てております。

病院全体の配置図

新棟 (A棟) の完成イメージ



新棟内の
(A棟)
ご案内

5F 医局・図書室・
院長室・事務室 他



4F 病棟



3F 病棟



2F 病棟



1F 総合受付・医事部・薬局・売店・
エントランスホール 他



B1F 外来診察室 中央処置室
化学療法室 他



新任医師のご紹介

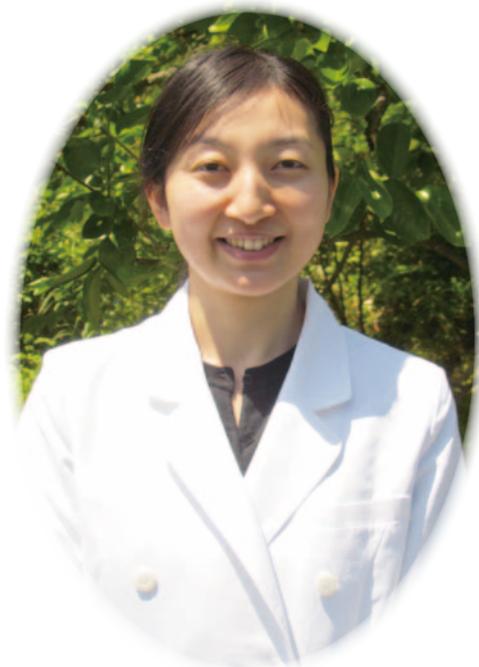
6月より毎週水曜日、木曜日の糖尿病内分泌科外来を担当させていただいております革嶋幸子です。丹後中央病院に勤務する以前は、京都市にあります京都医療センター 内分泌内科および京都大学医学部附属病院 内分泌代謝内科で勤務しておりました。

私の出身地は秋田県能代市、鉄道好きの方には五能線終着駅として、スポーツ好きの方にはバスケットボールの街として知られています。大学を卒業してすぐの初期研修は秋田県由利組合総合病院で行いました。それ以降は結婚し、京都に転居して京都市内で約6年暮らしていましたので、久しぶりにのどかな地域に戻ってきました。雪のない冬の生活にすっかり慣れてしまって、私も子供たちも冬でも滑り止めのない靴を履いて過ごしていましたが、今年の冬からは家族揃ってスノーシューズを揃えることからまず始めなくてはいいけませんね。

佐古先生とともに丹後地域の糖尿病・内分泌疾患患者さんの治療をサポートしていきたいと思っておりますので、是非皆さんも積極的に治療にご協力くださいね。

かわしま さちこ
革嶋 幸子 医師

糖尿病内分泌代謝内科 部長



糖尿病の食事療法

栄養科 管理栄養士 田中 奈美恵

● 野菜・海藻などから食べましょう

食物繊維が多く含まれる野菜や海藻は、糖の吸収を緩やかにしてくれます。そのため、食事の初めに食べることで、血糖の上昇を抑える効果があります。

以下のような順で食べることをおすすめします。



糖尿病内分泌科の診療

糖 尿病内分泌科には糖尿病の患者さん、内分泌疾患（主に甲状腺疾患）の患者さんが治療に通院されています。特に糖尿病は、特殊な場合を除いて生活習慣の改善で予防や病気の改善が期待できます。すでに糖尿病で治療をされている方はもちろんですが、まだ糖尿病の診断がついていない方も、血糖が高いと言われた段階で食事療法や運動療法を開始していただくことが重要です。全く血糖値に問題がない方でも、予防目的に食事療法や運動療法をしていただくことも良いと思います。これらの治療（食事、運動、薬物治療）のサポートをしていくことが糖尿病内分泌科の診療です。

治 療サポートの一環として、当院では希望者を対象に糖尿病について学ぶ「糖尿病教室」を定期的に開催しております。すでに参加して下さっている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。特に血糖値が高いと言われたり糖尿病治療が必要と言われた方は、病気を理解することが治療をしていく上でとても大切です。例えば、糖尿病は血糖という数値だけの問題ではなく、心臓、腎臓、末梢神経、眼、脳、血管、皮膚、歯肉など様々な臓器にダメージを与え、合併症と呼ばれる病気を併発してしまうことがあります。血糖が高い状態は免疫力が下がり感染症にかかりやすくなったり、悪化しやすく治りにくい体質になったりします。つまり血糖が高い状態は万病の元です。このような病気についての知識を学ぶことで、何も知らないよりも治療がうまくいったり、合併症を早く発見したりすることにつながります。

私たち糖尿病内分泌科の診療は治療のサポートということを是非心に留めて、御自身の病気に関心を持ち、治療に積極的に取り組んでいただきたいと思います。ただし、他の疾患で治療中の場合は、食事療法や運動療法の注意点がある場合もありますので、自己判断せず主治医の先生にご確認下さい。

Series 2

「食後高血糖」を防ぐために・・・

● 糖質の「重ね食い」は避けましょう



うどん+ごはん

パスタ+パン

お好み焼+ごはん

ラーメン+チャーハン

このように、糖質が主体のメニュー2種類を一度に食べるのは控えましょう。この「重ね食い」は、食後高血糖を招く原因となるだけでなく、野菜不足にもつながります。

主食（ごはん・パン）・主菜（肉・魚）・副菜（野菜）を、バランスよく摂るようにしましょう。

講演会より

消化器内科 主任部長 濱田暁彦

平成25年6月8日

於：京都府立宮津高等学校



去る6月8日、消化器内科・濱田 暁彦医師が
京都府立宮津高等学校よりお招きいただき、
将来、医療に関わる職業を目指す
高校1～3年生、80名余りを対象に
講演会を行いました。





今回の講演会では、自身も宮津高等学校の出身である濱田医師より、これまでの経歴や今日の医療現場における様々な職種についての紹介、そして、今後医療に携わる職業を志す生徒さん達に期待することなどをお話しさせていただきました。

参加された皆さんには講演の間、非常に熱心に耳を傾けていただきました。今回の講演が、生徒の皆さんの医療職についての理解をより深め、かつ将来の進路を決定するための一助となれば幸いです。



泌尿器科



島田 治 医師

はじめまして。島田治と申します。讃岐の国、屋島という所を故郷としております。

丹後中央病院に常勤医として勤務を開始し約1年が経過しました。福井 勝一先生と共に、最善の治療を提供できるよう日々頑張っております。

京丹後市の泌尿器科疾患を担当する責任の重さを感じておりますが、開業医の先生達との連携も含め、安心して加療を受けて頂けるような環境を今後も作っていきたいと考えております。通院環境などについて御希望がございましたら遠慮なく御相談下さい。

泌尿器科について

泌尿器科と言えば、なかなか恥ずかしくて診察を受ける事に抵抗がある科ではありませんか？

普段何気なくしているおしっこですが、夜間2回以上おしっこがしたくて眼が覚めたり、お昼は2～3時間もたなかつたり、おしっこする時に力まないと出なかつたり、残尿感があったり、トイレまで待った無しで漏らしたり、笑ったりくしゃみをしたら漏れちゃうような状態でしたら是非受診して下さい。今まで外出などがおっくうになっていた方々は、お薬で改善する可能性が十分にあります。

当院では、洛西ニュータウン病院、京都府立医大の先生達と連携しており様々な手術を行っております。まず尿路結石の治療として、レーザーと内視鏡を併用した最新の治療を行っております。また腎臓がん、前立腺がん、膀胱がんや前立腺肥大症に対しても、内視鏡や腹腔鏡などを使用した低侵襲手術を行っております。最近急増中の前立腺がんの検査として前立腺生検術（前立腺の細胞を採取する検査）がありますが、当院では安全と痛みに対する取組として、半身麻酔下に経会陰（肛門と睪丸の間の部分）的アプローチを採用しております。これによって出血と痛みが飛躍的に改善しました。

平成24年度の手術件数は164件でした。内訳は前立腺全摘除術15件、内視鏡下レーザー併用尿路結石破砕術17件、腹腔鏡腎摘出術3件、骨盤内臓全摘除術1件、内視鏡下膀胱腫瘍切除術（TUR-Bt）17件、内視鏡下前立腺切除術（TUR-P）18件、前立腺生検術52件、シャント血管拡張術8件、その他33件です。

放射線治療や血管塞栓治療が必要な患者さまは、福知山病院や舞鶴医療センターと連携をとりながら適宜加療を行っております。また難治症例の患者さまには、京都大学医学部附属病院、京都府立医科大学付属病院、舞鶴共済病院、豊岡病院に、病状の重さや患者さまの御希望を伺いながら紹介させて頂いております。

とにかくおしっこの悩みはあまり我慢しないで、まずは泌尿器科を受診して下さい。



福井 勝一 医師



リハビリテーション科

リハビリテーション科は現在、理学療法士（PT）38名、作業療法士（OT）13名、言語療法士（ST）4名、その他スタッフ3名、以上、総勢58名のスタッフで、患者さんの1日も早い日常生活への復帰を目指すべく365日体制でのリハビリテーションを行っています。

今回は、一部ではありますが、写真を通して日々のリハビリテーションの様子をご覧いただきたいと思っております。



訓練の様子



リハビリテーションの様子と
ガーデニングで収穫した野菜



患者さんによる作品です



リハビリテーション科のスタッフです



現在、施設課に所属する職員は31名、このうち院内の電気・水道・空調・防災等の設備の保守管理、及び患者様の送迎や、職員が公務で使用する公用車の運転業務等を行う施設管理部門が15名、院内の清掃及び清拭タオル、手術着、病衣等の洗濯、縫製を担当する清掃、洗濯部門が16名となっています。



今回は施設の業務のうち、無料送迎バスについてご説明をさせていただきたいと思います。

平成23年9月より与謝、宮津方面の患者様を対象に運行を開始しました。ご利用いただく患者様の増加に伴い、京丹後市内への運行を希望される患者様の声が多くなってまいりました。また、兵庫県や伊根町より通院される患者様からも同様の希望があり、本年7月より、1台ではありますが増車を行い、運行ルートを増設いたしました。詳しくは、添付いたしました運行表

をご覧ください。当院を受診される患者様はどなたでもご利用いただけます。また、来院時、帰宅時どちらか片道でのご利用も可能です。少しでも多くの患者様にご利用いただきたく思います。

丹後中央病院は、本年9月より大きく生まれ変わります。送迎バスも含め来院される全ての患者様に快適に過ごしていただけます様、施設課一同努力して行きたいと思っております。



職員を募集しています

第2回目 応募締切り 平成25年10月18日(金) 消印有効

平成26年度4月採用

【採用職種・人員】

正看護師 20名

【選考日時】

第1回目 平成25年8月24日(土) (募集終了)

第2回目 平成25年10月26日(土)

第3回目 平成25年12月14日(土)

※随時募集もしています

准看護師・パート勤務の方もご相談に応じます



第1回目 応募締切り 平成25年9月20日(金) 消印有効

平成26年度4月採用

【採用職種・人員】

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士 各数名

【選考日時】 第1回目 平成25年9月28日(土)
(第2回目 平成25年11月予定)



お電話・メールにてお気軽にお問い合わせください

お電話でのお問い合わせ

0772 (62) 0791

メールでのお問い合わせ

syokuin@tangohp.com

職員課・採用担当まで



公益財団法人 丹後中央病院

〒627-8555 京都府京丹後市峰山町杉谷158-1

http://www.tangohp.com